
2011年4月29日ダンスデーに向けてのオフィシャルメッセージ

人類の歴史においてもっともすばらしいのは屋外でダンスが行われてきたことでしょう。森の中の空き地や村の広場、教会の庭、または脱穀場で何時間もぶっ続けて踊るために集まったことでしょう。

現代では踊りは、ほとんどがダンスホールやクラブ、劇場、学校の講堂、スタジオやディスコなどで行われています。

本年はオープンスペース：ストリート、広場、公園、スタジアム、ビーチ、駐車場で、祝・ワールドダンスデーを行うことによって、大自然に一步を踏み出す、という提案をいたします。

踊る、という衝動は自然な衝動で、ダンサーたちは大自然をそれぞれの方法で崇拜し、宇宙とつながり、その活力を彼らの中に滴らせているでしょう。

私たちは、年中ダンスを教え、リハーサルし、4つの壁のなかで演技しています。ダンスにささげられたこの特別な日に、見ている方すべてのために活動すること、教えること、または演技することの違いを知らせましょう。寒くて雨がふり、床面はもちろん十分よいものではないし、風が音楽を持ち去るかもしれませんが、それらの動きの美やその顔に浮かぶ喜びは、通りすがりの自然発生的なオーディエンスの心を輝かせていくでしょう。

パリ、ユネスコ
国際ダンス協議会 CID
アルキス・ラフティス教授
